

救命処置の流れ(心肺蘇生法とAEDの使用)

観察

処置



①反応なし



②大声で叫び応援を呼ぶ
119番通報・AED依頼



③呼吸をみる



普段どおりの呼吸あり

気道確保
応援隊・救急隊を待つ
回復体位を考慮する

呼吸なし



※死戦期呼吸は心停止として扱う



④胸骨圧迫
・強く(成人は少なくとも5cm・小児は胸の厚さの約1/3)
・速く(少なくとも100回/分)
・絶え間なく(中断を最小にする)
・圧迫解除は胸がしっかり戻るまで

⑤人工呼吸
・人工呼吸ができないか、ためられる場合は胸骨圧迫のみを続ける

⑥心肺蘇生法(胸骨圧迫+人工呼吸2回)を繰り返す



⑪繰り返し

⑦AED装着
・電源を入れる
・電極パッドを装着する



⑪繰り返し

⑧心電図の解析

必要あり

⑨電気ショック1回
⑩その後ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開

必要なし

⑩ただちに胸骨圧迫から心肺蘇生を再開



救急隊に引き継ぐまで、または傷病者が目を開けたり、普段通りの呼吸が出現するまで心肺蘇生を続ける